

グラフで見る東海経済(2023年2月)

2023年2月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 東海経済は、足踏み状態となっている
- 12月の生産は2ヵ月ぶりに減少。自動車産業で半導体調達難による生産調整が続いており、足踏み状態となっている。トヨタ自動車の生産計画では持ち直しを見込むが、下振れリスクは残る。
- 実質輸出も12月は4ヵ月ぶりに減少となり、足踏み状態となっている。
- 設備投資は22年度計画が上方修正となるなど、持ち直している。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きがみられる。

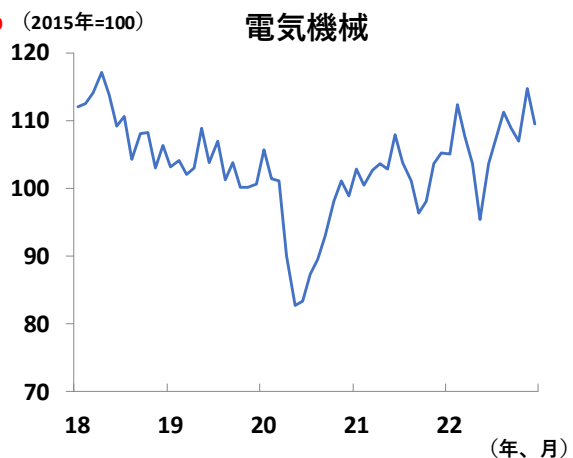
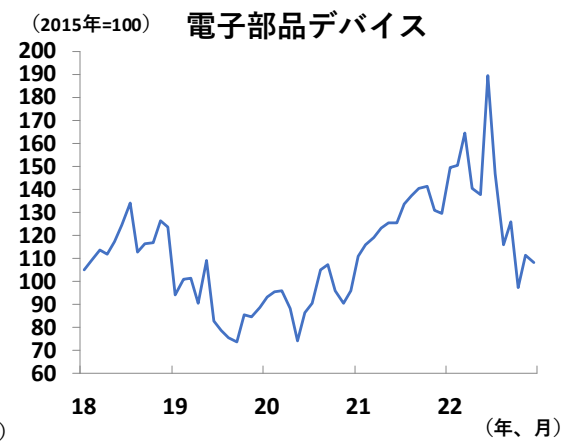
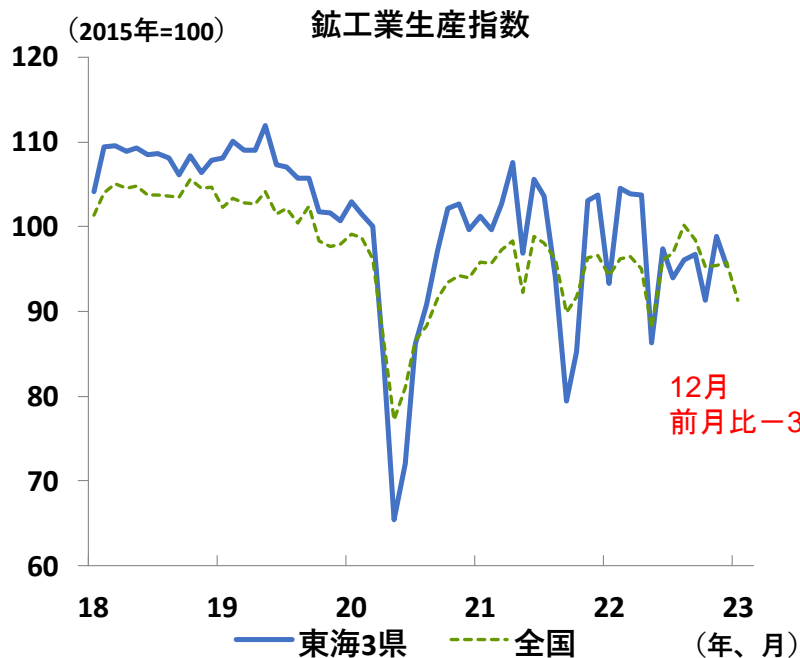
項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている(↓)
生産	足踏み状態となっている(↓)
輸出	足踏み状態となっている(↓)
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	請負金額は弱含み

注: ()内は前月からの変化の方向

景気全般、生産、輸出は「持ち直しの動きがみられる」から下方修正(↓)

生産

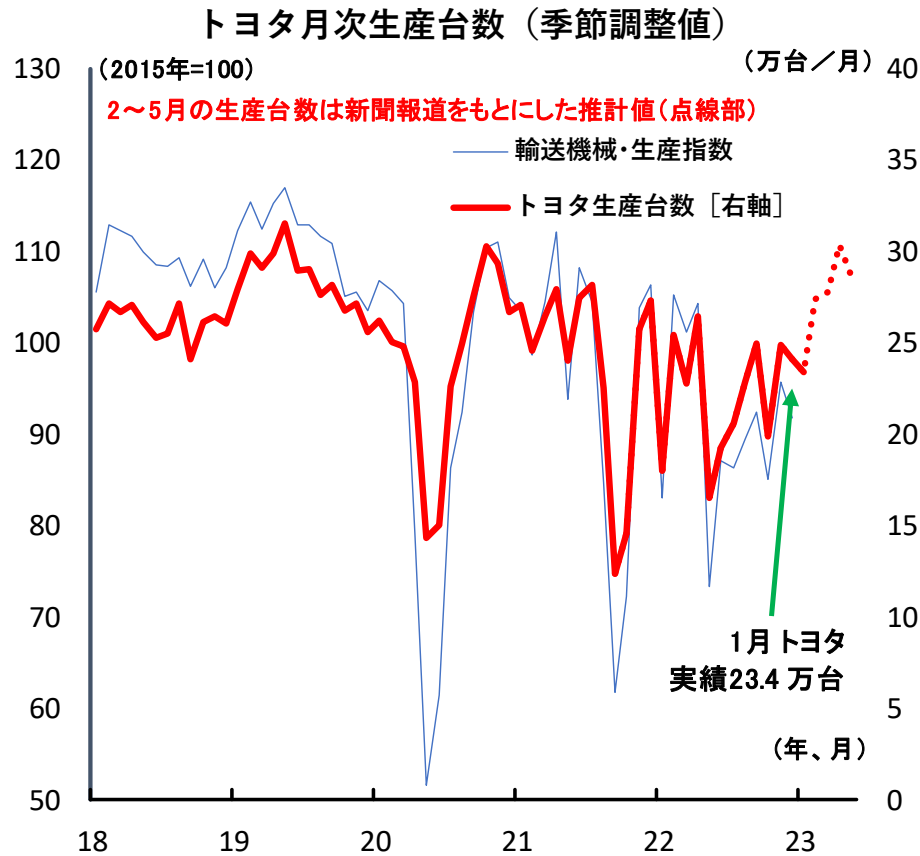
12月の鉱工業生産(東海)は前月比-3.4%と2カ月ぶりに減少、足踏み状態となっている。輸送機械、電子部品デバイス、電気機械、汎用・生産用・業務用機械など主要業種が減少した。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

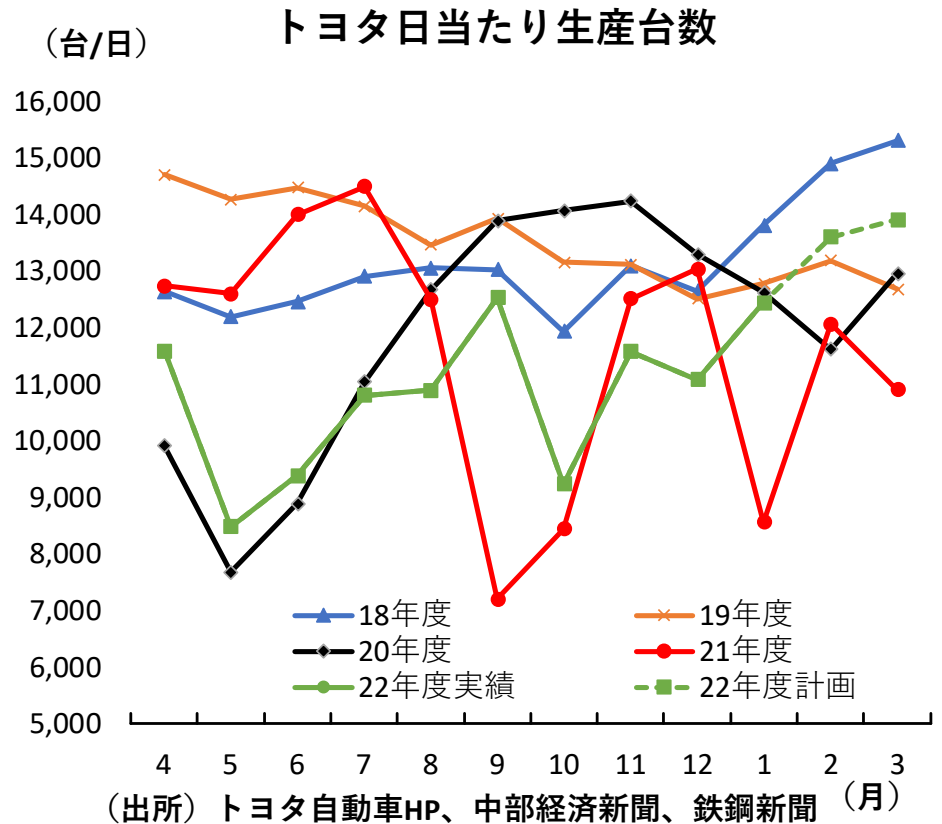
生産（トヨタ国内生産）

1月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は23.4万台と2ヵ月連続で低下。2月以降に生産ピッチを上げる計画となっているが、車載半導体の安定調達には不確実性が残る模様。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの

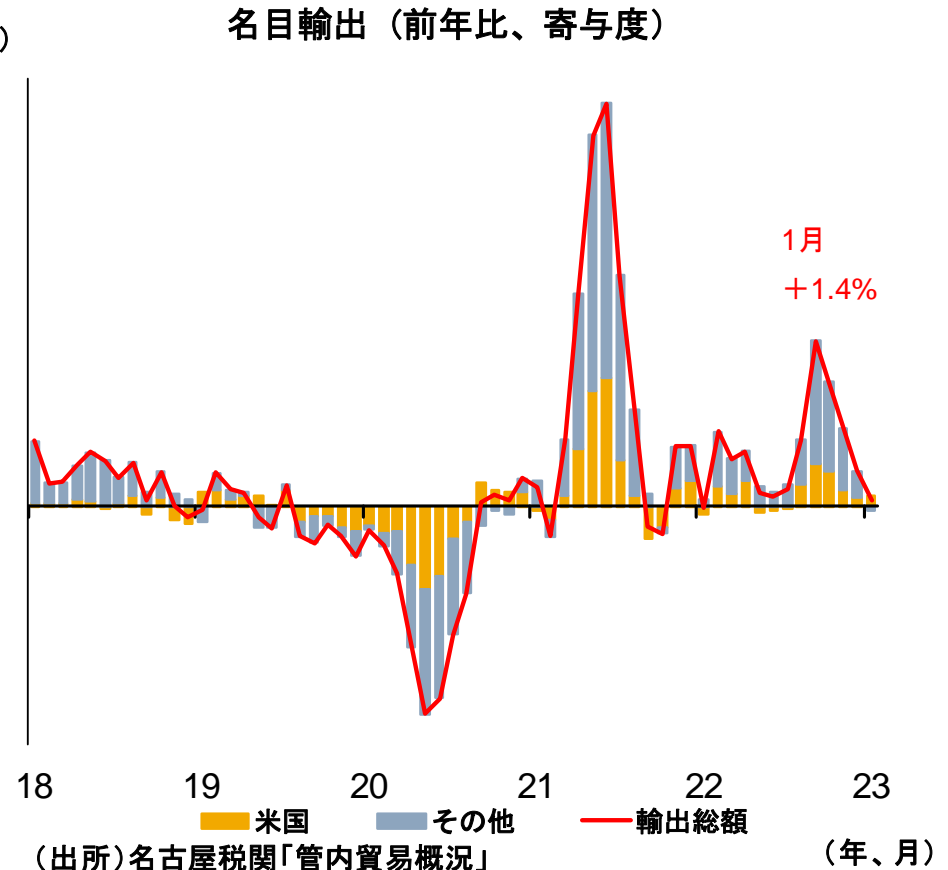
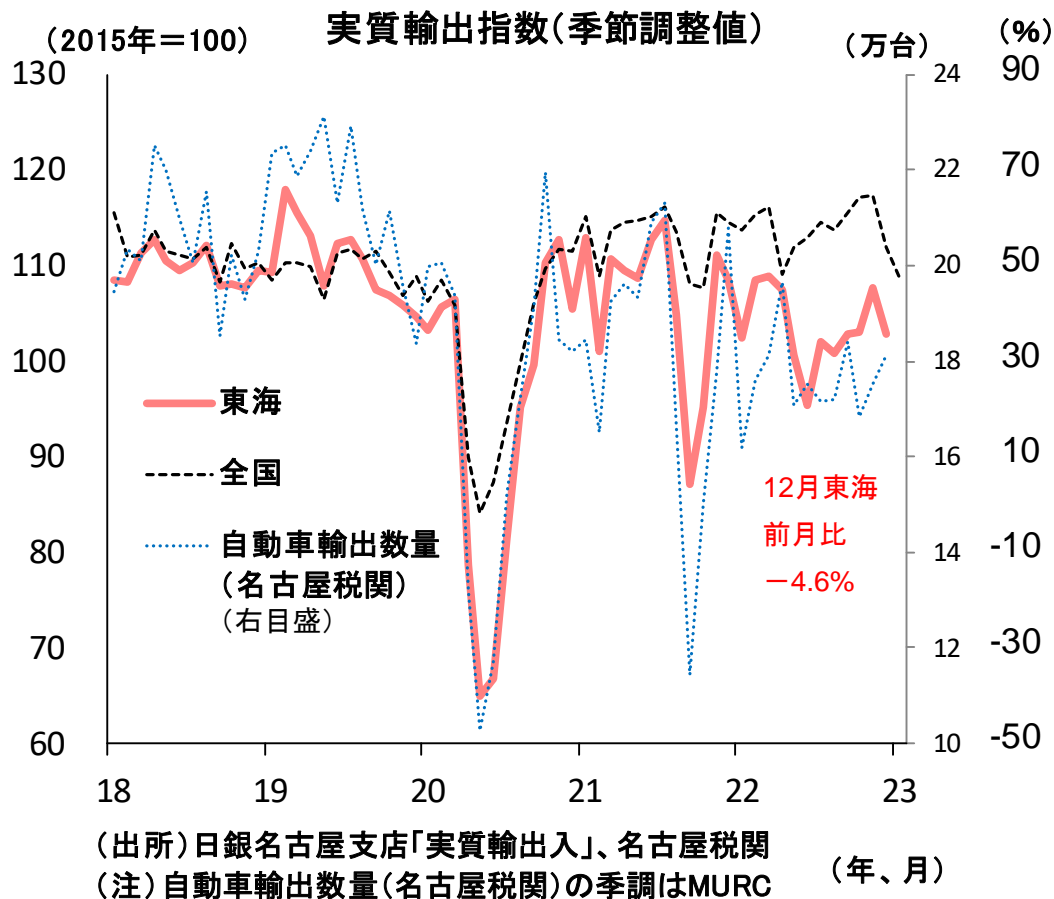
(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」



輸出

12月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-4.6%と4ヵ月ぶりに低下した。

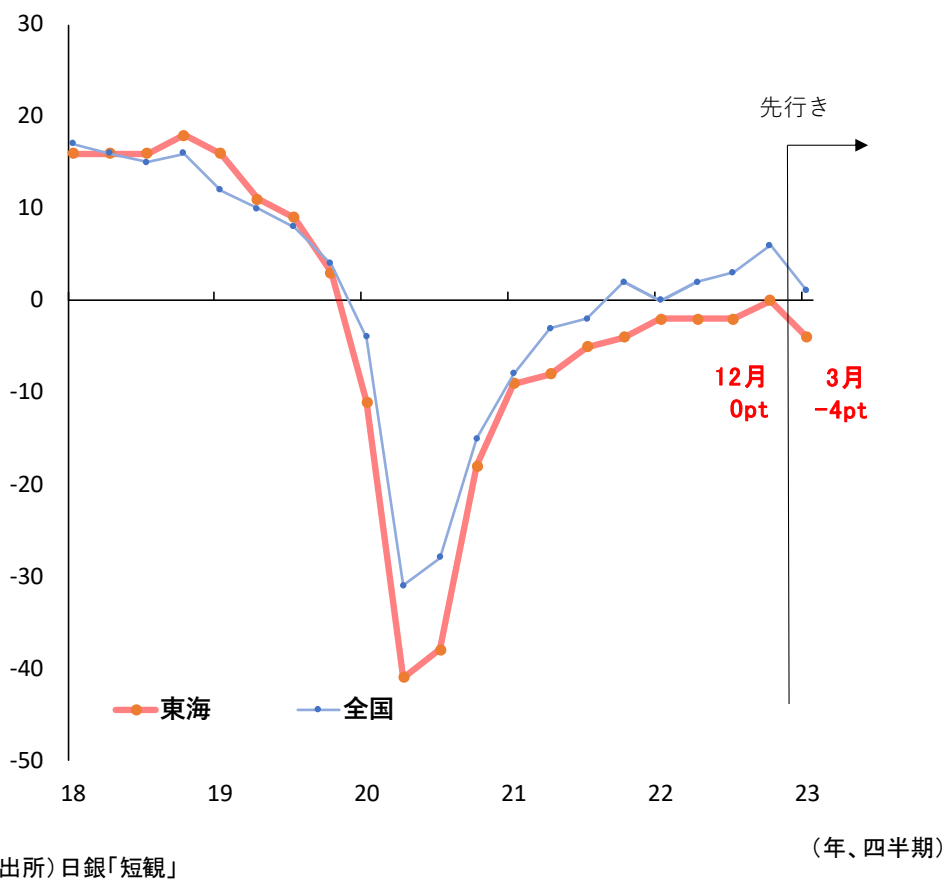
1月の名目輸出額は、前年比+1.4%と12ヵ月連続で増加したが増加幅は縮小している。業種別では、自動車と同+12.8%(寄与度+3.2%)と増加したが、数量ベースでは同-3.9%と減少した。地域別ではアジア向け、EU向けが減少となったが、米国、その他向けが増加した。



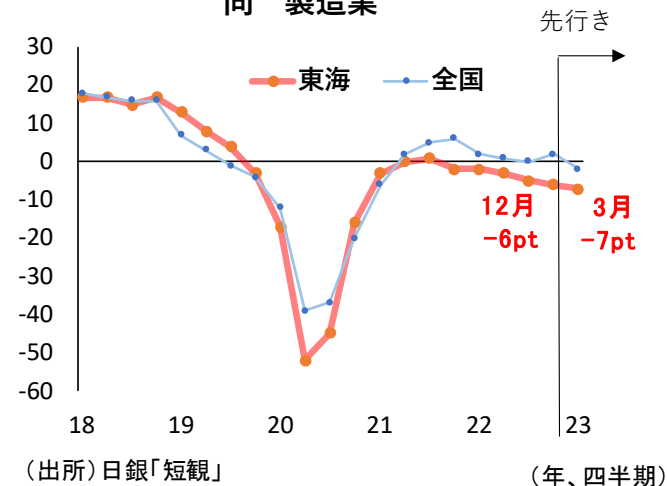
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で±0ptと9月調査(-2pt)から改善。製造業は-6ptと小幅悪化、非製造業は+7ptと改善した。自動車産業の景況感は-8ptと9月調査(-13pt)から改善した。

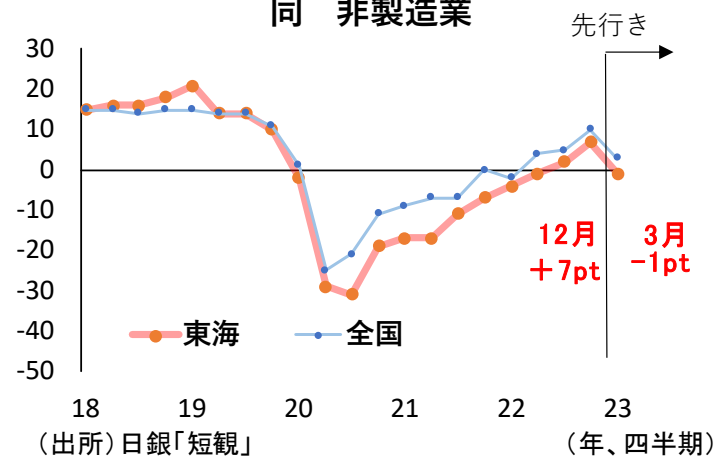
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

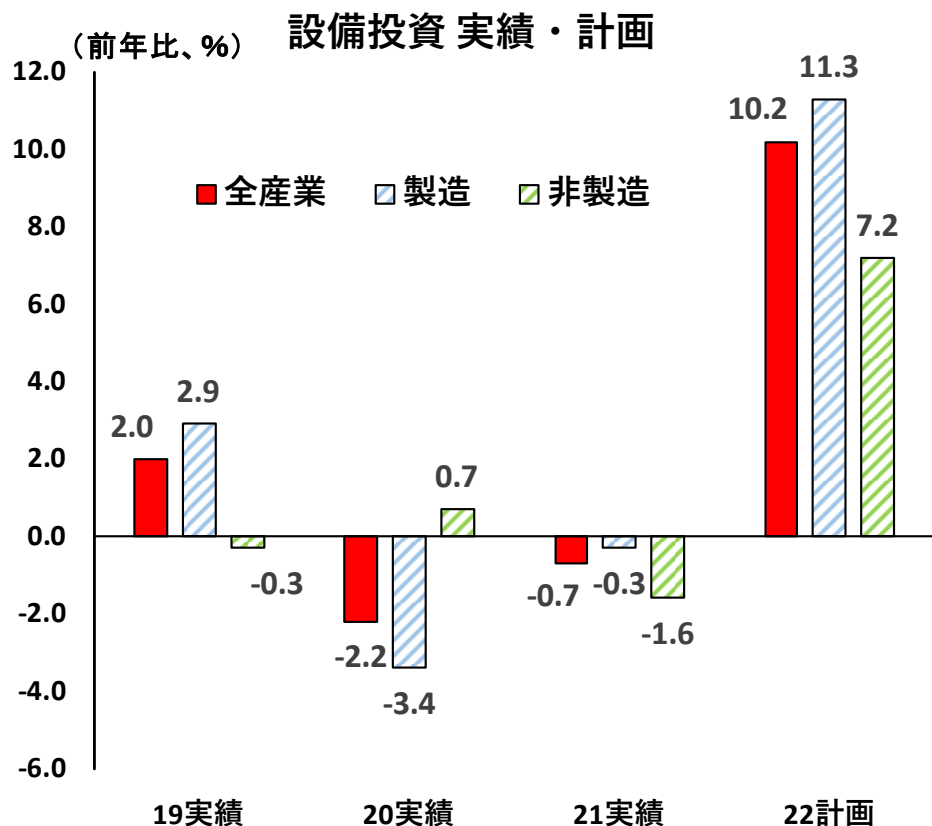


同 非製造業



設備投資（日銀短観） ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査によると、22年度の設備投資計画は製造業で前年比+11.3%と前回調査から上方修正、非製造業では同+7.2%と小幅下方修正となった。化学、はん用機械、電気機械で大幅増が見込まれている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

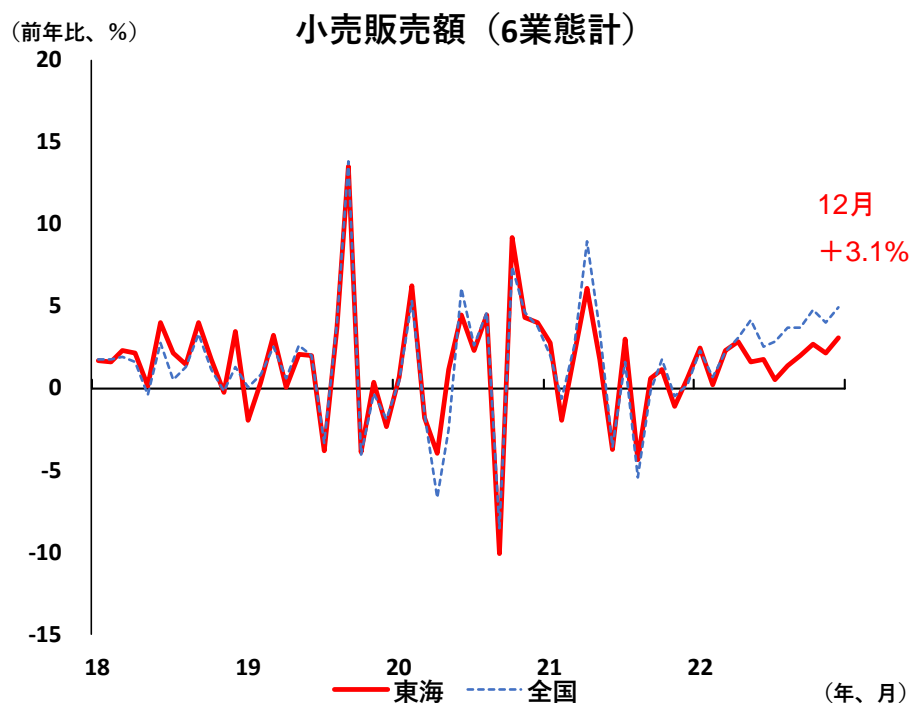
設備投資額（前年比%）

	21年度実績	22年度計画	
		今回調査	前回調査との差異
全産業	-0.7	10.2	(1.7)
製造業	-0.3	11.3	(2.4)
非製造業	-1.6	7.2	(-0.3)

個人消費(小売売上、自動車販売)

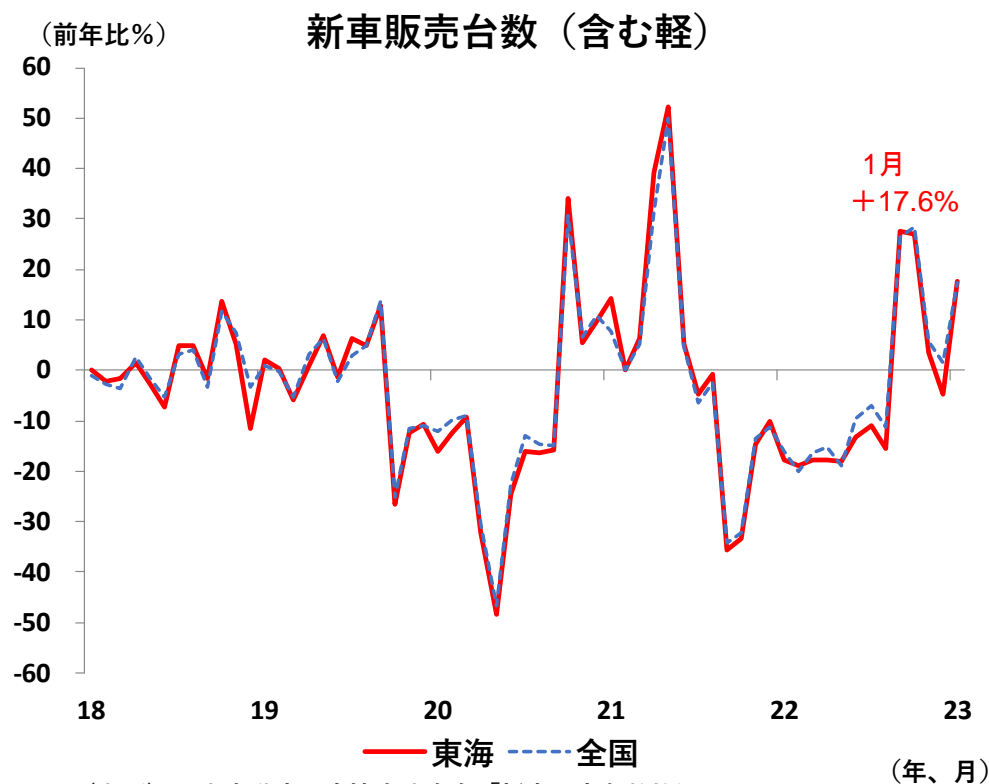
12月の小売販売額は前年比+3.1%と13ヵ月連続で増加。先行きは、物価上昇、コロナ感染再拡大などが懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

1月の新車販売は、前年比+17.6%の39,401台と2ヵ月ぶりに増加した。軽自動車、普通車、小型車のいずれもが増加したが、半導体調達難で自動車生産の停滞が続いており、1月の水準としては高いものではない。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

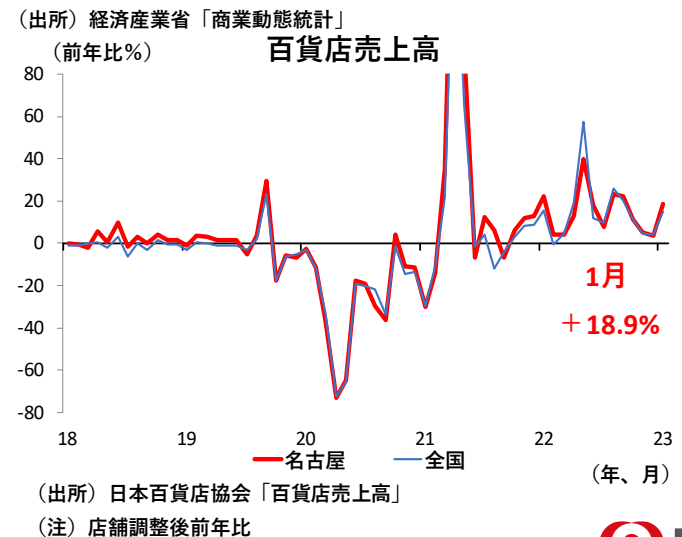
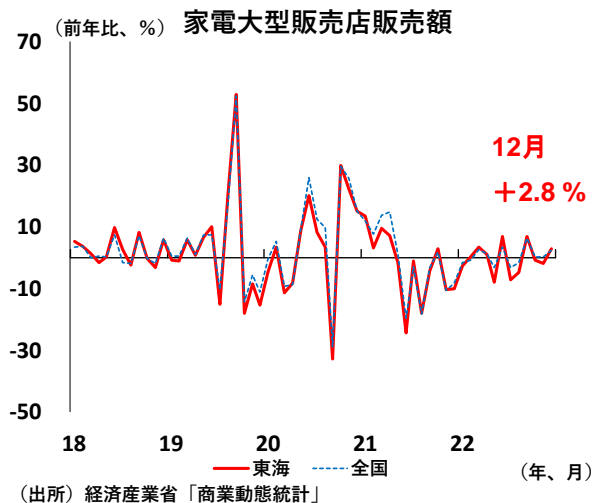
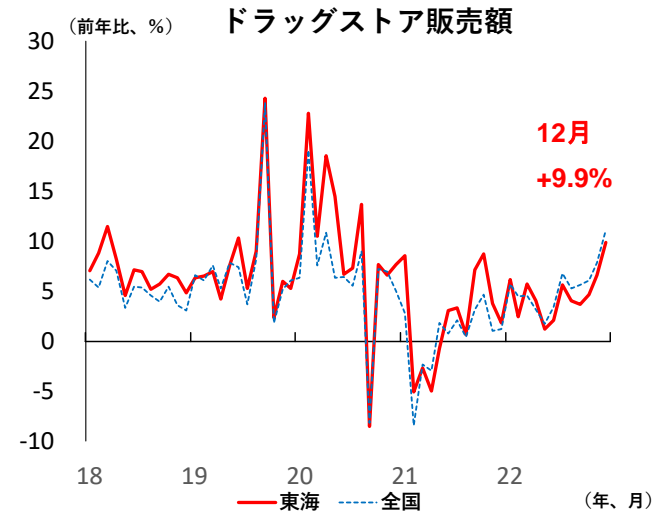
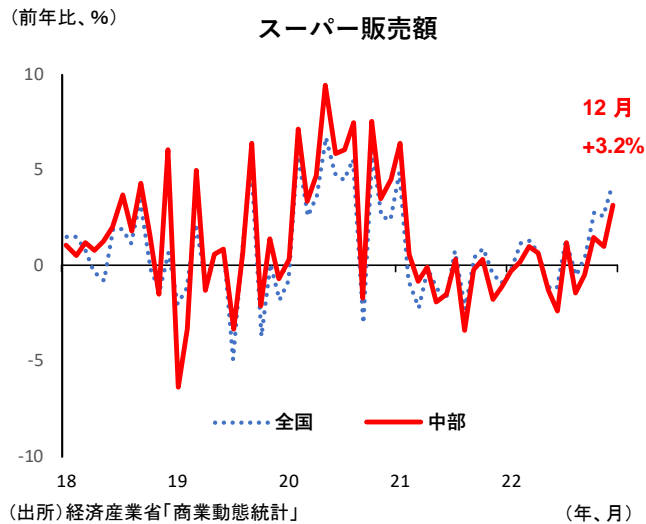
(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

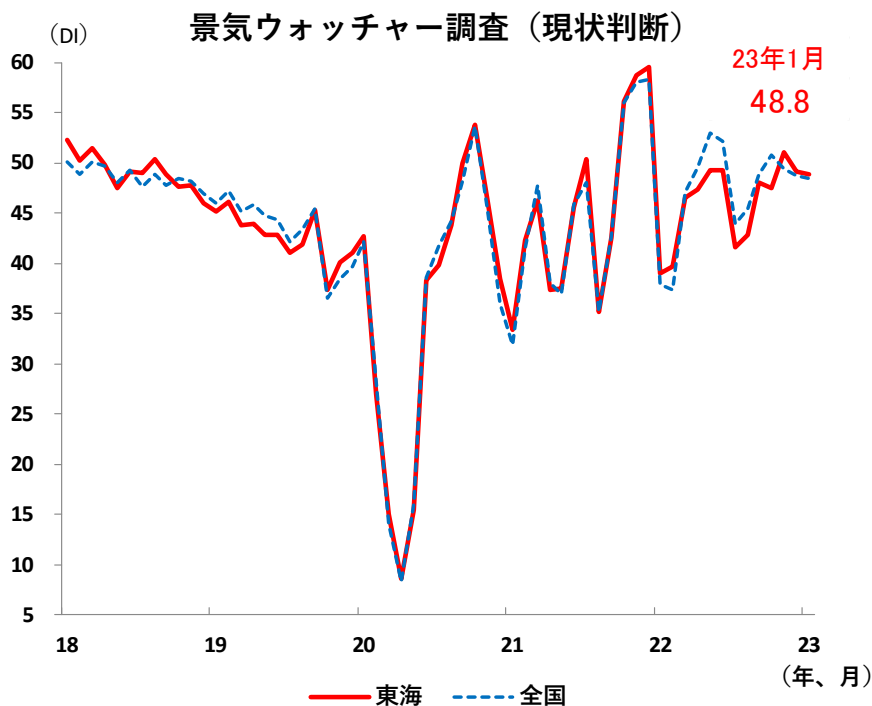
12月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)が3カ月連続で増加、家電は3カ月ぶりに増加した。
1月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+18.9%と16カ月連続で増加した。



マインド・景況感

1月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-0.3ポイントの48.8と2ヵ月連続で低下し、横ばいを示す50を2ヵ月連続で下回った。人流の戻りを指摘するコメントが多いものの、物価上昇の影響もあって消費回復の動きは強いものではない模様。

1月の消費者態度指数は2ヵ月連続で上昇した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

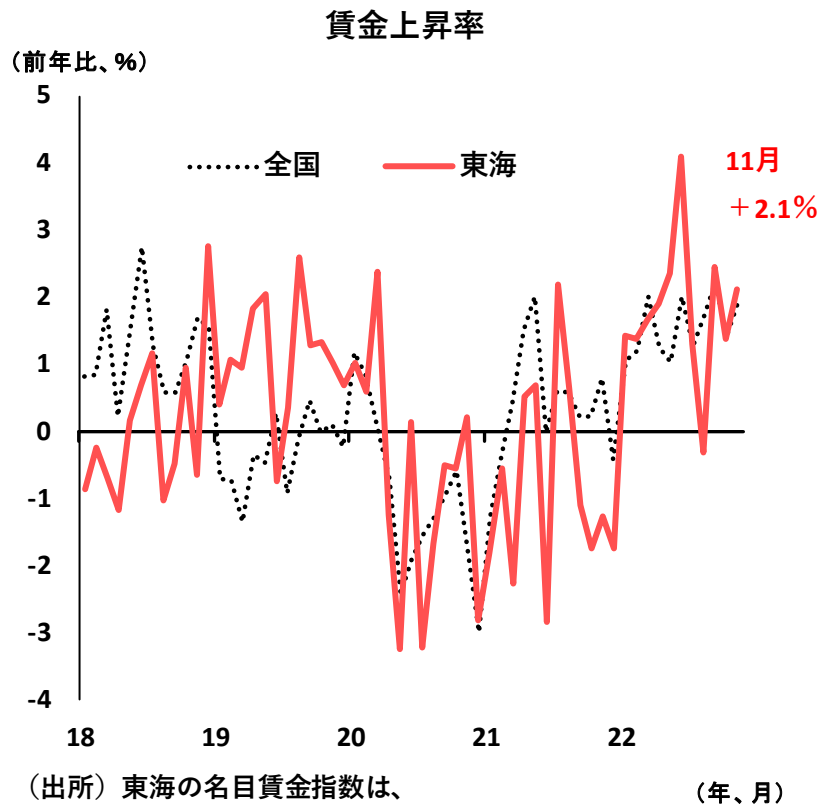


(注)東海の季節調整値はMURC試算

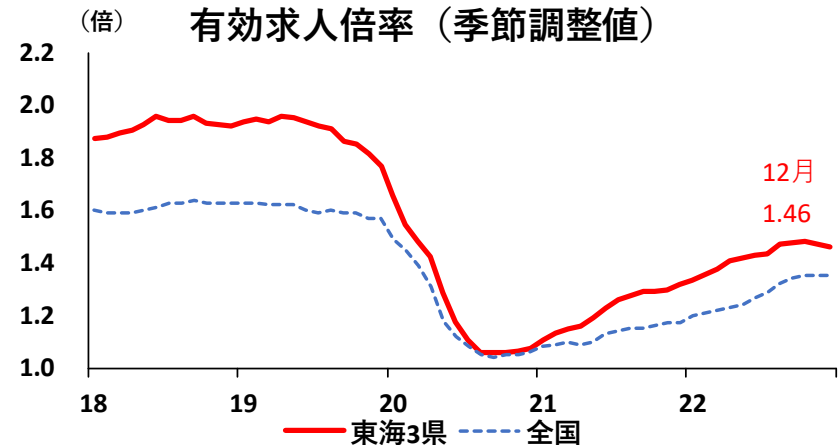
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

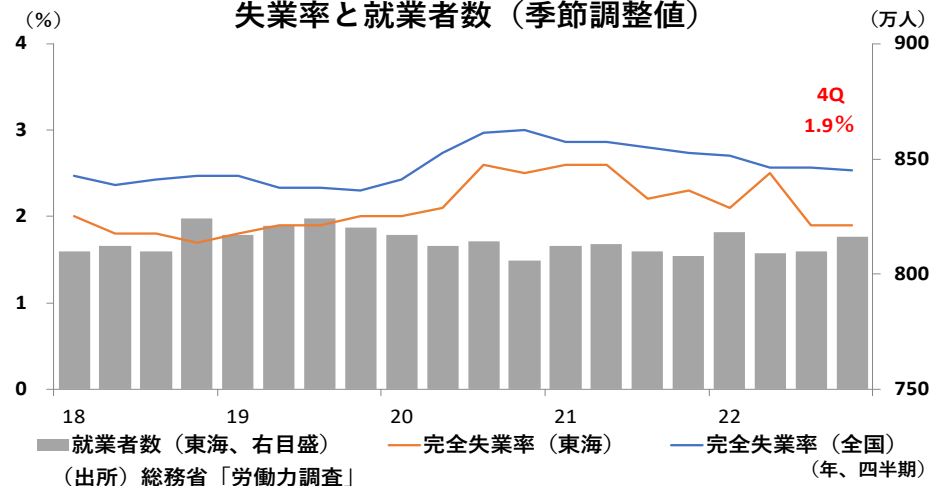
11月の名目賃金は、前年比+2.1%と3カ月連続で上昇した。12月の求人倍率は1.46と前月から小幅低下したが、全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。22年10-12月期の失業率は1.9%と横ばい。就業者数は増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

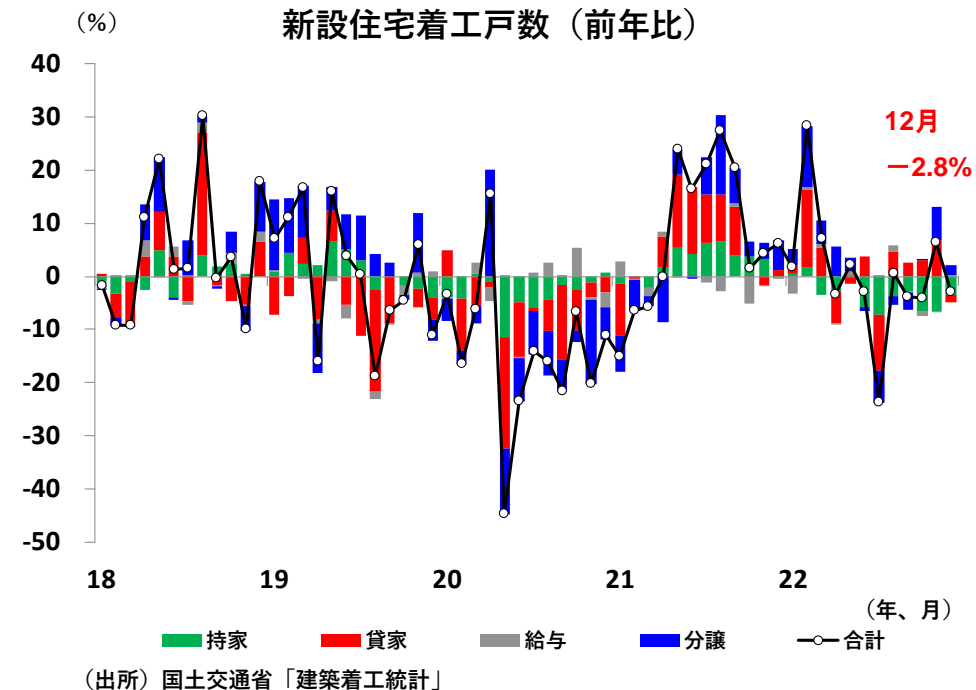
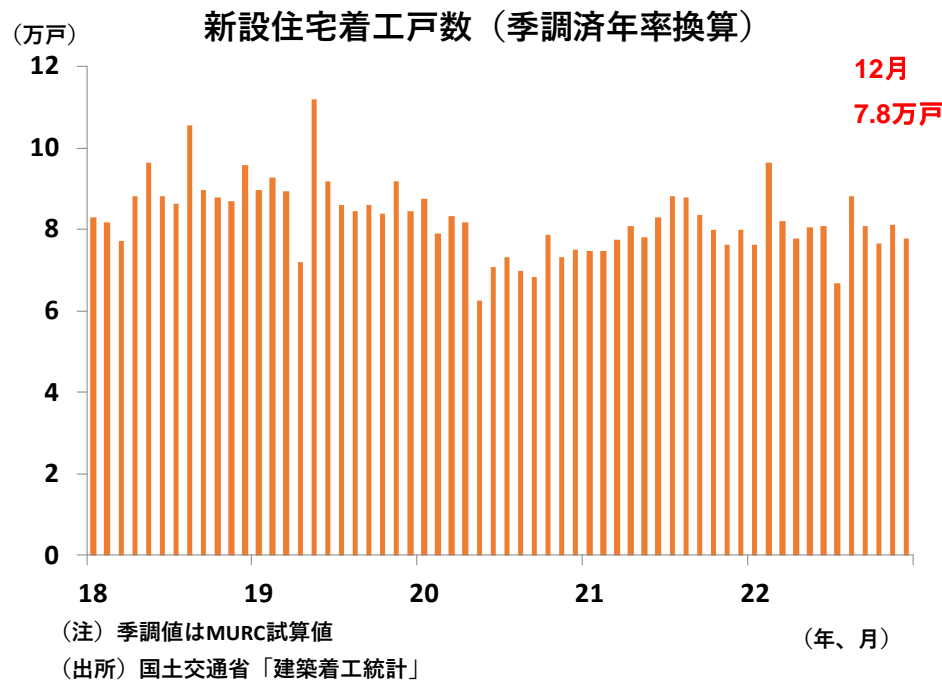


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」
失業率と就業者数 (季節調整値)



住宅投資

12月の住宅着工は季調・年率で7.8万戸と2ヵ月ぶりに減少。前年比でも-2.8%と減少した。利用関係別では分譲が増加したが、持家、貸家が減少した。

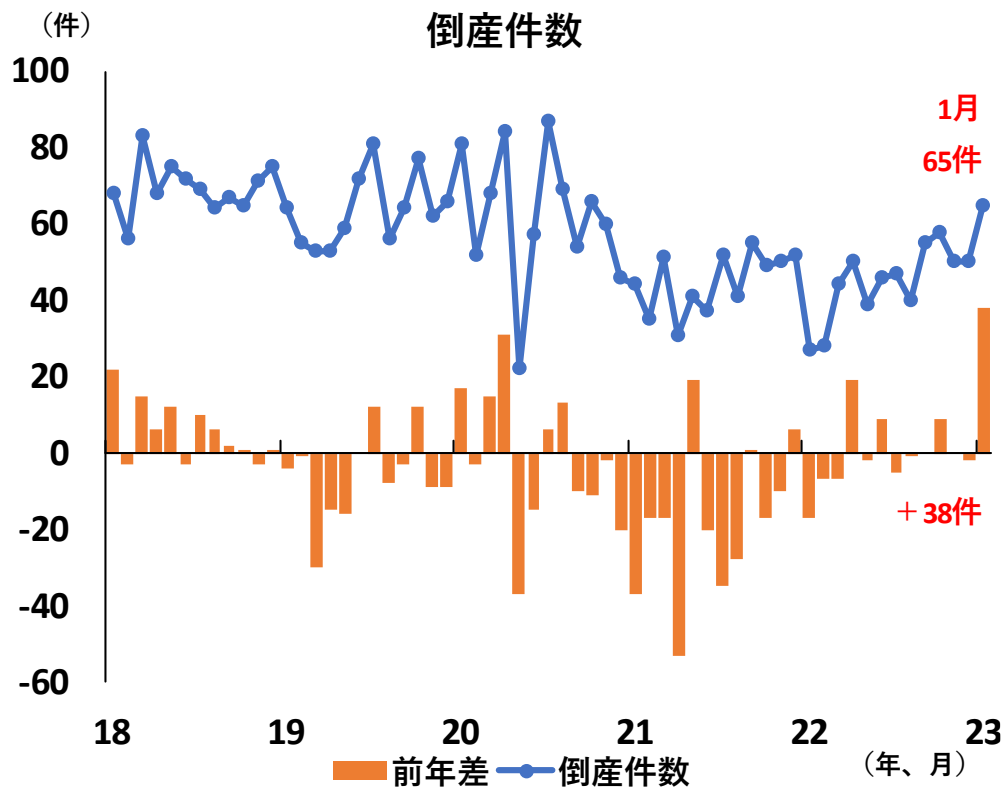


倒産

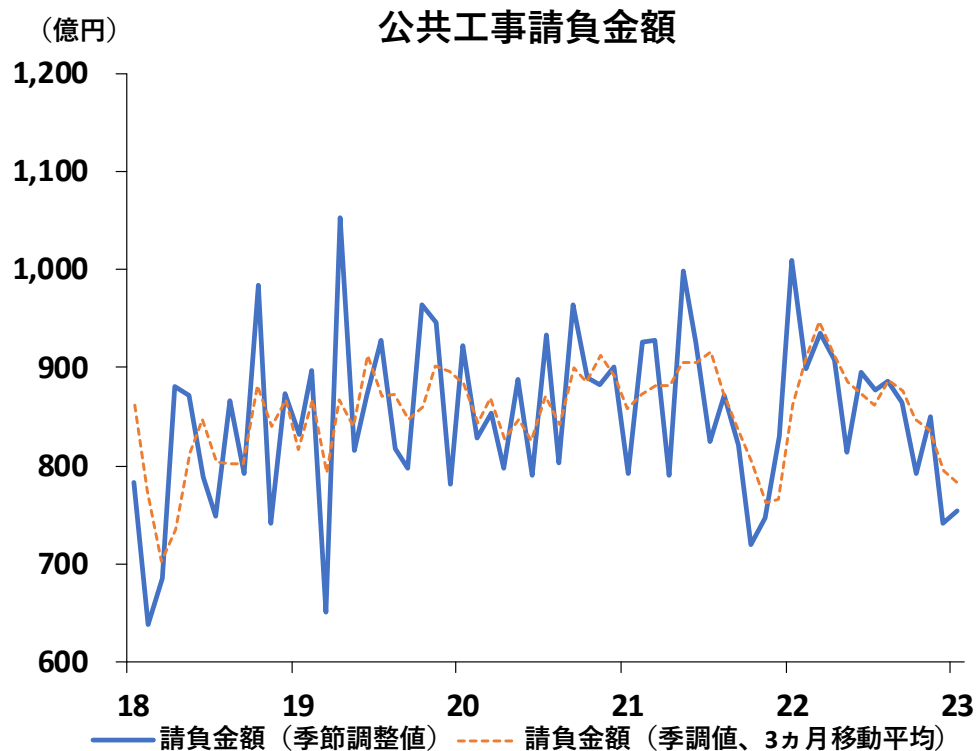
公共投資

1月の倒産件数は65件と前年差で38件増加。件数はこのところ増加してきている。

1月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で5カ月ぶりに増加となったが、弱含んでいる。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください